

Darkness and Light - Kiyochika, Yasuji and Ryūson

闇と光 — 清親・安治・柳村



2022.11.1_[火] > 12.18_[日]

【前期】11月1日_㊄～11月23日_㊄・_祝

【後期】11月26日_㊄～12月18日_㊄ ※前後期で全点展示替え

〔開館時間〕10時30分～17時30分(入館17時まで)

〔休館日〕月曜日、11月24日・25日(展示替えのため)

〔入館料〕一般 1000円 大高生 700円 中学生以下無料

〔リピーター割引〕会期中2回目以降ご鑑賞の方は半券のご提示にて200円割引(他の割引との併用不可)

太田記念美術館

ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

小倉柳村「湯嶋之景」太田記念美術館蔵(前期)



小林清親「佃嶋雨晴」太田記念美術館蔵(後期)



小林清親「江戸橋夕暮富士」太田記念美術館蔵(前期)



井上安治「銀座商店夜景」太田記念美術館蔵(後期)



井上安治「浅草橋夕景」個人蔵(前期)



小倉柳村「向嶋八百松楼之景」太田記念美術館蔵(前期)



小倉柳村「御茶水之景」個人蔵(後期)

鮮やかに切り取られた闇の色、光の色

今から約150年前の明治9年(1876)、小林清親(1847~1915)は、西洋からもたらされた油彩画や石版画、写真などの表現を、木版画である浮世絵に取り込むことによって、これまでにはない東京の風景を描きました。真っ暗な夜の街に輝くガス灯の光や、鮮やかな赤い色に染まった夕焼けの空など、光や影のうつろいを巧みに捉えた清親の「光線画」は大いに流行し、井上安治(1864~89)や小倉柳村(生没年不明)も後に続きました。

本展覧会では、小林清親、井上安治、小倉柳村の3人の絵師たちが描いた光線画、約200点(前期と後期で全点展示替え)を展示します。木版画だからこそ味わい深い、闇の色、光の色をお楽しみください。

【入館料】一般1,000円、大高生700円、中学生以下無料

【アクセス】東京都渋谷区神宮前1-10-10 [JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分 東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分]

【問合せ】050-5541-8600(ハローダイヤル) 【公式サイト】<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/> 【公式Twitterアカウント】@ukiyoeota

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、予告なく予定を変更することがあります。また、入場および観覧に際し、制限・制約やご協力をお願いする場合がございます。ご来館の前に、当館ウェブサイトやハローダイヤルにて最新情報をご確認ください。

学芸員によるスライド・トーク 展覧会の見どころを担当学芸員が解説します。

■11月2日(水)・11日(金)・22日(土)・30日(日) ■12月8日(水)・16日(金) ■11時~(約30分) 定員50名

当日10時30分より美術館受付にて整理券を配布します。聴講には本展の当日入場券と整理券が必要です。整理券は展覧会にご入場の方1名につき1枚まで。

